

# kanamoto ■ カナモトエグザミナー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

あし、こもひが  
あひつれいた。

ボクも  
拾ったよ

vol.65

第49期(2013年10月期)第3四半期号

## 東日本大震災の対応⑨——宮城県と福島県に新拠点を開設

一層の「対応力」強化を図るため2拠点を新設。  
引き続き被災地の復興に努めてまいります。

現在、東日本大震災の被災地では瓦礫処理などの復旧工事に加えて、宅地の高台移転や、道路・下水道・港湾など社会インフラの復興に向けた工事も本格化してきています。

そこで当社は7月に南三陸営業所(宮城県本吉郡)を、9月には広野営業所(福島県双葉郡)を新設し、日に日に増加する復旧・復興工事の需要に、よりきめ細やかに対応するための支援体制を整備いたしました。この2営業所を開設することで周辺拠点との資産物流が効率化し、それぞれの資産稼働率が向上する効果も得られるなど、一層の「対応力」強化につながるものと考えております。☑



### 南三陸営業所

7月19日オープン



〒986-0781  
宮城県本吉郡南三陸町  
戸倉字沖田9-1

TEL : 0226-47-3072 FAX : 0226-47-3353

### 広野営業所

9月10日オープン



〒979-0401  
福島県双葉郡広野町大字  
上北迫字上田郷42番1

TEL : 0240-28-0533 FAX : 0240-28-0225

## 3Q

2013.5

- サンクスフェア2013：江別を皮切りにスタート
- 札証IR 個人投資家向け会社説明会(札幌証券取引所主催)に参加



- サンクスフェア in 北見を開催 .....

- サンクスフェア in とちぎを開催

- 平成25年10月期業績予想の修正について発表

2013.6

- 第49期(2013年10月期)第2四半期決算発表



- サンクスフェア in 千葉、山形を開催

- 【東京】第49期第2四半期決算説明会を実施

- ラジオNIKKEIの投資家向け番組「ザ・マネー ～火曜日 櫻井英明のかぶとびら」に出演

- サンクスフェア in 岩見沢を開催



- 九州建産 サンクスフェア in 長崎営業所を開催

- サンクスフェア in 帯広を開催

- ラジオNIKKEI 3都市IRセミナー in 札幌に参加

2013.7

- 札証IR 個人投資家向け会社説明会 in 帯広(札幌証券取引所主催)に参加



- 長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメントに協賛

- サンクスフェア in 苫小牧、盛岡を開催



- ラジオNIKKEI 沖縄IRセミナー

- カンキ サンクスフェア in 神戸西営業所を開催

- 南三陸営業所(宮城県本吉郡)を開設

- サンクスフェア in 函館を開催

- 道新・UHB花火大会に協賛



- 第一機械産業 サンクスフェア in 大隅営業所を開催

- サンクスフェア in 富山、湘南を開催

## 4Q

2013.8

- 環境広場さっぽろ2013に出展



- 日本IFA協会主催 投資知識研究所特別セミナーに参加

- 夏休み子どもECOスクール(札幌商工会議所主催)に参加

- 2013神宮外苑花火大会に協賛

- 日経IRフェア2013 STOCKWORLDに出展



2013.9

- 第49期(2013年10月期)第3四半期決算発表

- サンクスフェア in 旭川を開催

- 第一機械産業 サンクスフェア in 鹿児島営業所を開催

- ラジオNIKKEIの投資家向け番組「ザ・マネー ～火曜日 櫻井英明のかぶとびら」に出演



- 広野営業所(福島県双葉郡)を開設

## 下期もIR活動の充実に努めています

当社は今期もIR活動に注力、引き続き下期も積極的に展開しております。

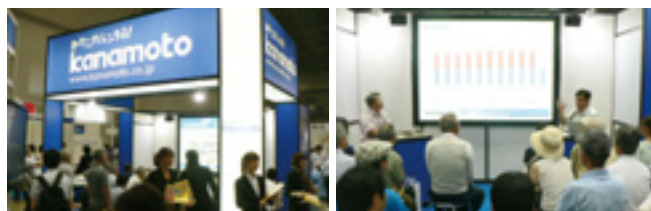
5月18日開催の札証IR 個人投資家向け会社説明会のほか、6月30日にラジオNIKKEI 3都市IRセミナー in 札幌、7月4日には帯広で開催された札証IR 個人投資家向け会社説明会と立て続けに参加いたしました。

第4四半期に入ってから、8月3日に「日本の明るい未来を創る 国土強靱化・現場の主役大集合」と題して開催された日本IFA協会主催の投資知識研究所特別セミナーに参加。そして、



日本IFA協会主催の投資知識研究所特別セミナーの様子

同月30日～31日には夏恒例のIRイベント「日経IRフェア2013 STOCKWORLD」に出展しました。開催2日間の来場者数は延べ17,000人以上で、当社ブースおよび特設会場での会社説明会にも



東京ビッグサイトで開催された日経IRフェア2013の当社ブース

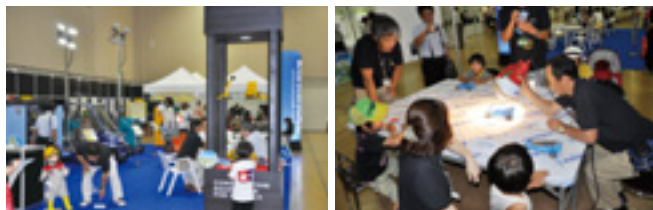
多くの個人投資家の方々にお越しいただきました。また、ラジオNIKKEIの投資家向け番組「ザ・マネー ～火曜日 櫻井英明のかぶとびら」にも継続して出演。同番組のホームページには、過去の放送をポッドキャストでお聴きいただける「カナモトIR特集ページ(<http://market.radionikkei.jp/9678ir/>)」を設けていただいておりますので、ぜひアクセスしてみてください。

当社は今後もIR活動の充実に努め、より多くの皆様に「カナモト」をPRしてまいります。kca

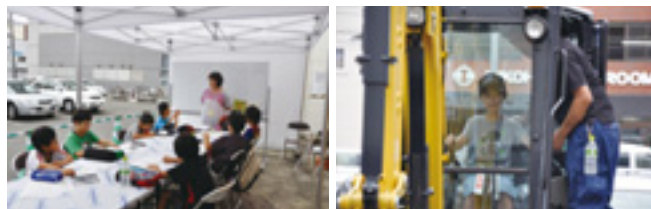
## 2つの環境イベントに参加しました

当社はCSR活動の一環として、環境対策やエコをテーマとするイベントにも積極的に参加しております。

8月2日～4日にアクセスサッポロで開催された「環境広場さっぽろ2013」に今年も出展しました。同イベントは、開催3日間で延べ30,000人以上を集客する道内最大級の総合環境イベント。バッテリー式LED投光機や超小型電気自動車など環境技術を活かした製品を展示・紹介したほか、「ソーラーカーを作ろう!」「水から電気を作る燃料電池のしくみ教室」などの体験コーナーを設けた当社ブースにも、大勢の方々



環境広場さっぽろの当社ブース(左)と体験コーナー「ソーラーカーを作ろう!」(右)



講義(左)と実習(右)を組み合わせ実施した当社の子どもECOスクール

お越しいただきました。

また、同月8日には「夏休み子どもECOスクール」に参加しました。これは札幌市内の小学4～6年生を対象とした札幌商工会議所主催のイベントで、参加企業がそれぞれ環境に関する授業を行い、夏休みの自由研究に役立ててもらおうというものです。当社も本社の野外駐車場に子どもたちを招き、「環境の大切さ」を伝える“エコ教室”とあわせて建設機械の試乗体験を実施するなど、当社の環境に対する取り組みと事業内容について学んでもらいました。kca

## おかげさまでカナモトサンクスフェア2013が無事に閉幕

「カナモトサンクスフェア2013」は、皆様のご支援を賜り北海道、東北、北陸、関東の各営業所で開催、無事に閉幕することができました。

当期も最後を飾ったのは9月7日～8日開催の旭川。建機メーカー各社のブース、ミニ建機や仮設ユニットハウスの即売会




グループ企業もサンクスフェアを開催。写真は第一機械産業(株)鹿児島営業所



大勢の地元の方々にご来場いただいたサンクスフェア。写真の上2枚は湘南、下2枚は旭川


ほか、綿あめや焼きそばなどの飲食コーナー、フワフワ遊具や建機の試乗体験などのアミューズメントも充実し、多くの地元の方々に楽しみいただきました。

また、当社グループ企業のカンキが近畿で、同じく九州建産・第一機械産業が九州でそれぞれサンクスフェアを開催し、好評のうちに終了いたしました。

来期の開催につきましては、日程・内容が決まり次第、当社HP ([www.kanamoto.co.jp](http://www.kanamoto.co.jp)) でご案内してまいります。皆様にお楽しみいただけるようさまざまな企画をご用意しますので、ぜひ次回もご来場ください。 

## とってもいいモノ・読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で50名様にノベルティグッズをお贈りします。今号のプレゼントはカナモトオリジナルダイアリーの2014年版。毎年ご好評をいただいている人気の手帳です。

塩ビ製のカバーは水に強いだけでなく、手触りのよさも特長。表面に「カナモトアライアンスグループ」のシンボルマークを、裏面にはおなじみの「カナモト坊や」をエンボス加工してあります。中面もオリジナル仕様で、前半のスケジュール部分は2週間分を見開きに、後半はデータ罫の引かれた集計表タイプのメモページをたっぷり設けるなど、機能性にこだわった構成となっています。来年のスケジュール管理はぜひこの手帳で！皆様のご応募をお待ちしています。 

ご応募の締め切りは2013年11月8日(当日消印有効)です。  
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



# 第49期第3四半期決算の概況 [平成24(2012)年11月1日から平成25(2013)年7月31日まで]

## ●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
第49期第3四半期	80,288 (36.7)	8,410 (98.2)	8,322 (116.1)	4,706 (72.7)	143.36
第48期第3四半期	58,717 (13.4)	4,244 (113.8)	3,850 (152.4)	2,725 (-)	83.02

## ●連結業績予想

第49期通期予想	103,410 (20.1)	9,570 (48.8)	9,230 (55.6)	4,530 (26.7)	137.99
(ご参考) 第48期通期実績	86,106 (21.1)	6,430 (121.3)	5,932 (164.9)	3,575 (206.7)	108.88

(注)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

## [経営環境]

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、新政権への政策期待から円安傾向と株価上昇が進行し、消費心理や企業の景況感の改善もあり持ち直しの動きが見られました。ただ、世界的には

米国経済が穏やかな回復基調にあったものの、欧州の債務問題や中国経済の減速懸念などが払拭されず、依然として景気の先行きは不透明な状況が続きました。

## [第3四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、震災復興事業の本格化に加え、昨年度の大型補正予算の執行等から公共工事を中心に建設需要は増加基調にあり、また民間投資も企業収益の改善を背景に明るい兆しが見られました。しかしながら、一方で労働者不足や資機材価格の高騰から入札不調や着工遅延等の懸念材料も抱えた状態でありました。

このような状況の中、当社グループでは、本格化する復興事業への対応を強化して、レンタル用資産の充実を進めたほか、被災地域に新たな拠点を設置するなど、復興事業の進捗により多様化するニーズに的確に対応すべく積極的に設備投資を行いました。

また、全国各地での防災・減災工事やインフラメンテナンス工事に対してもグループ企業との連携、アライアンス企業との取引強化を進め、グループ全体でのシナジー効果を発揮できる体制の構築を進めました。

これらの結果、2013(平成25)年10月期第3四半期の連結売上高は802億88百万円(前年同期比36.7%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は84億10百万円(同98.2%増)、経常利益は83億22百万円(同116.1%増)、また、四半期純利益は47億6百万円(同72.7%増)となりました。

## ■セグメント別売上高および売上比率(連結)



## [セグメント別の業績]

### 建設関連事業

当社の主力事業である建設機械レンタル関連事業におきましては、被災地域での震災復興関連工事や除染関連工事、全国各地での防災対策工事や老朽化インフラの維持補修工事、エネルギー関連工事を中心とした民間建設需要の増加にグループ全体で積極的に関与出来たことから同事業における地域別売上高の前年同期比は北海道地区16.7%増、東北地区38.2%増、関東地区70.3%増、近畿中部地区56.4%増、九州沖縄地区20.2%増と全地区で大きく伸ばいたしました。

なお、前年同期比率で大幅な伸長のあった関東地区や近畿中部地区は主にユナイテッド株式会社が連結に加わったことが影響しております。また、海外向け中古建機販売につきましても、引き続き資産売却を抑制していますが、円安の影響と中古市場の需給改善による値戻しもあり、同14.6%増となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は746億24百万円(前年同期比38.2%増)、営業利益は80億87百万円(同101.5%増)となりました。

### その他の事業

北海道で展開する鉄鋼製品販売事業については、太陽光関連工事や防潮堤関連工事向け販売が堅調に推移したこと、さらに鋼材市況の改善等もあり売上高は前年同期比23.3%増となりました。また、情報通信関連その他事業ではパソコンレンタルや特定人材派遣とともに計画通り推移し同4.0%増となりました。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は56億63百万円(前年同期比20.4%増)、営業利益は1億23百万円(同20.3%増)となりました。

## [特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況]

当第3四半期連結会計期間における拠点の新設は南三陸営業所(宮城県本吉郡)の1ヶ所、閉鎖はありませんでした。

## ■ 連結財務諸表

### 連結損益計算書(累計)

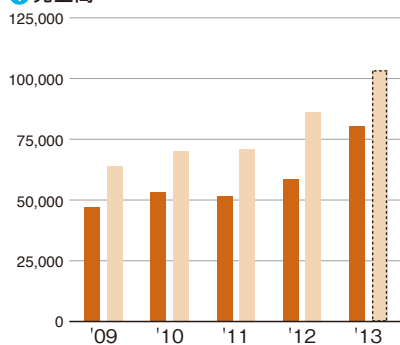
(単位:百万円)	第48期第3四半期 (2011.11.1~2012.7.31)	第49期第3四半期 (2012.11.1~2013.7.31)
① 売上高	58,717	80,288
売上原価	41,036	55,328
売上総利益	17,680	24,959
販売費及び一般管理費	13,436	16,549
② 営業利益	4,244	8,410
営業外収益	389	678
営業外費用	783	767
③ 経常利益	3,850	8,322
特別利益	828	57
特別損失	242	59
税金等調整前四半期純利益	4,436	8,320
法人税、住民税及び事業税	1,876	3,388
法人税等調整額	△140	△105
少数株主損益調整前四半期純利益	2,701	5,038
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△24	331
④ 四半期純利益	2,725	4,706

### 連結包括利益計算書(累計)

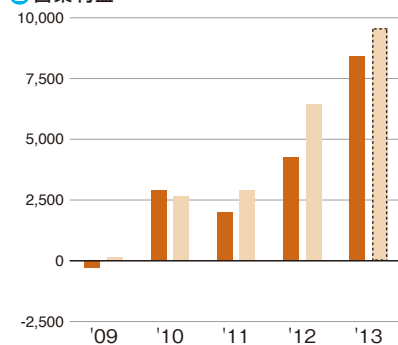
(単位:百万円)	第48期第3四半期 (2011.11.1~2012.7.31)	第49期第3四半期 (2012.11.1~2013.7.31)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,701	5,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	988
為替換算調整勘定	9	152
その他の包括利益合計	61	1,140
四半期包括利益	2,763	6,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,781	5,818
少数株主に係る四半期包括利益	△18	360

■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円

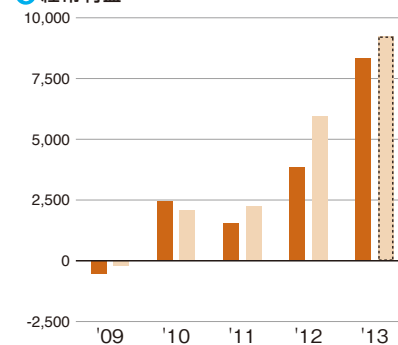
#### ① 売上高



#### ② 営業利益



#### ③ 経常利益

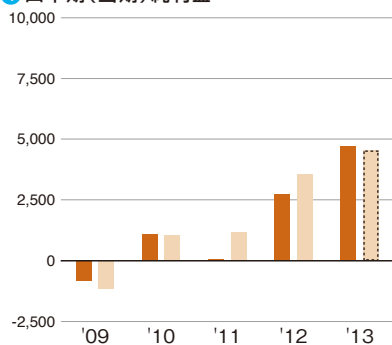




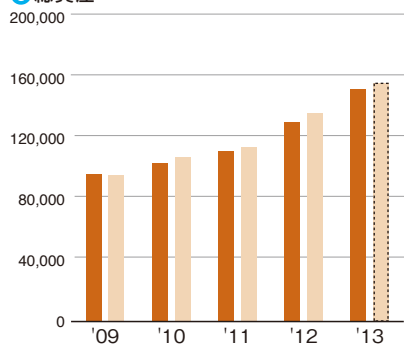
## 連結貸借対照表

(単位:百万円)	第48期第3四半期 (2012.7.31)	第49期第3四半期 (2013.7.31)
(資産の部)		
流動資産	45,166	54,926
固定資産	86,500	98,387
有形固定資産	80,770	91,439
無形固定資産	256	434
投資その他の資産	5,473	6,513
<b>⑤ 資産合計</b>	<b>131,667</b>	<b>153,314</b>
(負債の部)		
流動負債	43,053	48,733
固定負債	48,217	57,568
負債合計	91,271	106,301
(純資産の部)		
株主資本	38,981	43,978
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	18,350	23,359
自己株式	△26	△37
その他の包括利益累計額	211	1,388
その他有価証券評価差額金	251	1,319
為替換算調整勘定	△40	69
少数株主持分	1,202	1,644
<b>⑥ 純資産合計</b>	<b>40,395</b>	<b>47,012</b>
負債純資産合計	131,667	153,314

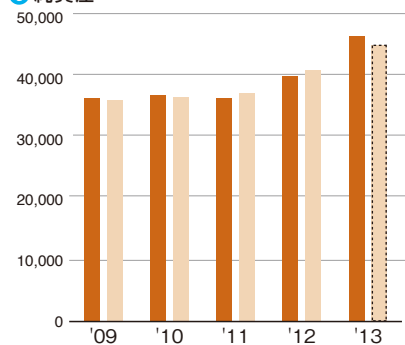
④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



# カナモトの創立50周年を機に、アライアンスグループ マークを制定しました

株式会社カナモトは、来年創業50周年を迎えます。1991年に株式を公開して以来、年々関連会社も増え、グループとしての体裁も整いつつあります。自主自立の精神を大切にする企業風土から、個々の社章による企業経営を進めておりました。グループを標榜するのであれば個々がより連携しながら、一体となったグループ経営を推し進める必要があります。

50周年の節目、新たな50年、そして皆様のご期待に沿う企業体になるために、全てのグループ参画企業の御旗、共通のシンボルとなるグループマークを制定いたしました。

第50期(2014年10月期)からレンタル用機械に順次、このグループマークを貼付する予定です。日本のどこでも見られるよう、グループを挙げて精進してまいります。kca

## 文字との組み合わせ例



# kanamoto ALLIANCE GROUP

## グループマーク



## デザインに込めたふたつの意味

カナモトの頭文字Kの右部分を「矢」に見立て、ふたつの意味を込めてデザインしました。

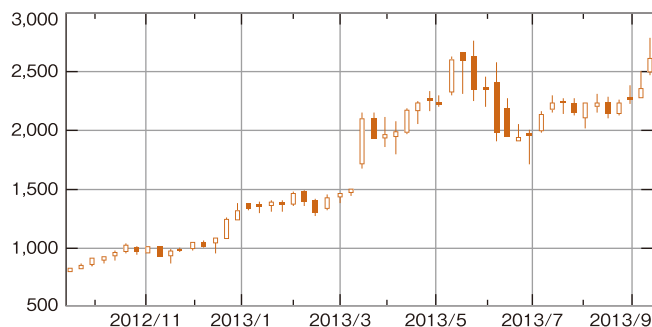
ひとつ目は、丘を越え坂を下った先を上り坂の道が続いている様を象徴しています。これはカナモトのこれまでの歩み、そして、これからも遅しく大きく頼れる企業となるべく歩み続ける様を、「未来永劫に続く道」という形で表したものです。

もうひとつは、羽を大きく広げ、悠然と空を飛ぶ鳥をイメージしたものです。ともに、カナモトグループは常に真摯な眼差しで未来を見つめ、弛みなく努力を続ける企業体であることを表しています。

## 株価及び売買高 (東証分のみ。単位：円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2012年 9月	843	915	791	909	4,765
10月	901	1,032	843	973	9,594
11月	972	1,047	875	1,047	7,306
12月	1,042	1,380	965	1,321	6,945
2013年 1月	1,379	1,461	1,300	1,454	8,653
2月	1,455	1,481	1,278	1,450	7,885
3月	1,452	2,149	1,447	1,965	14,563
4月	1,957	2,327	1,806	2,252	9,762
5月	2,252	2,763	2,210	2,371	9,869
6月	2,405	2,582	1,723	1,981	10,918
7月	1,998	2,292	1,985	2,068	7,367
8月	2,096	2,386	2,066	2,277	7,237

## 株価チャート (週足)



## 株主メモ (2013年7月31日現在)

資 本 金	96億9,671万円 (払込済資本金)
発 行 株 数	32,872千株 (発行済株式の総数)
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1 月 中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4 月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

### 株主名簿管理人及び特

別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 事 務 取 扱 場 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

同 郵 便 物 送 付 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

及 び 電 話 照 会 先 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。  
ホームページのURLは下記のとおりです。  
<http://www.kanamoto.co.jp> または <http://www.kanamoto.ne.jp>  
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告の掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### 株式に関する各種手続きについて

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### ● 編集後記 ●

今の状況をドラマ風というと、「建設機械、足りません!」、「需要は被災地だけで起きてるんじゃない。各地で起きてるんだ!」といったところでしょうか。調子に乗ってもう一言、「本社、聞こえるか? 建機が底をついた。どうして現場に建機がないんだ?」。その答えが、今回の公募増資。「これから大変だな」という声に「責任をとる。それが私の仕事だ」。ん〜、この「室井管理官」の一言は社長の発言っぽいな。半澤直樹とか、あまちゃんのセリフをと無い知恵を絞って見たのですが、「倍返しだ!」と「じゃえじゃえっ!」では少々無理がありまして…。些か古くて恐縮ですが、踊る大捜査線でした。さて、震災三県ではやっと復興工事も始まりました。全国強靱化計画のインフラ整備も着々と進行しています。だからホントに買って買っても足りないんです。加えて東京オリンピック。2020年まで追い風が続きそうです。な〜んて経営環境の良さに小躍りなんぞしてたら、某ギンコウインに「どうか。追い風は得てして向かい風に変わる」と言われちゃいますね。皆様のご期待に沿えるよう地に足をつけて頑張ります。ふう、最後の最後で半澤できました。ついでに安倍首相も真似てしましましょう。Buy my 9678!

R100  
百紙配合率100%再生紙を使用



本誌は、再生紙と  
ベジタブルオイルインキを使用しております。



鱈男。  
アリスの  
おしるしだ...



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

[www.kanamoto.co.jp](http://www.kanamoto.co.jp)